


# 1 時間で内容がわかる導入セミナー

## 知財情報活用講座(東京)

～パソコン演習・グループ討議で学ぶ知財情報活用の実践～

実施日程	7月5日(水) 18:30～19:30 弁理士会館
受講料	1,000円
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 知財情報の検索・調査および分析を通じて知財情報活用に興味のある方 以下、「知財情報活用講座」の対象者<ul style="list-style-type: none"><li>■ 知財経営コンサルタントを目指す方であり、知的財産情報(特に特許・意匠情報)をベースに、自社や支援先企業へ知財戦略策定や研究開発支援を行いたいと考えている方</li><li>■ パソコン演習やグループディスカッションを通じて知財情報調査・分析およびその活用に関する知識・スキルを体系的に習得したい方</li></ul></li></ul>
概要 ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「知財情報活用講座」(全 5 回)の内容や目的、受講することで得られる知識・スキル・テクニックについて講座コーディネーター 兼 講師から説明する 1 時間の紹介セミナーです。実際に講師がパソコンによる実演も含めて講座概要を紹介いたしますので、受講を検討されている方はもちろん、知財情報検索・調査・分析およびその活用の全体像を把握したい方、どのような講座を取るべきか検討されている方、今後どのような知識・スキル・テクニックを習得していけば良いか悩んでいる方にも参考になる内容ですので、お気軽にご参加ください。 以下、「知財情報活用講座」の概要とねらい<ul style="list-style-type: none"><li>■ グローバル化が進展し、様々な製品・サービスがコモディティ化する現在において、戦略的な知的財産の活用によって事業戦略やビジネスモデルを確立・推進し、自社既存ビジネスの保護・発展および新規事業の開発が必要とされています。そのような業務を遂行できる「知財経営コンサルタント」として、企業の事業戦略および研究開発戦略策定に貢献するためには、知財情報の調査・分析を戦略的に行った上で、分析結果に基づく知財面からの解決策提示・戦略立案をする知識・スキルが必要とされます。</li><li>■ 本講義では、知財情報調査・分析業務に従事しているコーディネーターと特許事務所および企業の現場において実際に知財情報調査・分析結果を利用・活用されている講師陣からプログラムが構成されています。単なる座学ベースの講座ではなく、事前課題、パソコン演習およびグループディスカッションも交えることによって知財情報を活用するための基礎知識およびスキル・テクニックを体系的に習得していただきます。</li></ul></li></ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「知財情報活用講座」(全 5 回)の講座の目的および全体像の把握、講座に参加することで得られる知識・スキル・テクニックを理解する 以下、「知財情報活用講座」の到達目標<ul style="list-style-type: none"><li>■ 知財情報調査・分析について体系的な知識・スキルセットを習得する。</li><li>■ 各種知財情報調査・分析について基礎知識を習得し、簡単な先行技術調査については J-PlatPat を用いて自ら実施することができる／複雑な知財情報調査・分析については外部調査機関をリードすることができる。</li><li>■ 知財情報調査・分析結果をベースに、解決策提示・知財戦略立案を行うことができる。</li></ul></li></ul>

<p style="text-align: center;"><b>講師 略歴</b></p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="flex: 1;"> <p><b>◆野崎 篤志 氏</b> (株式会社イーパテント 代表取締役/知財情報コンサルタント)</p> <p>慶応義塾大学院理工学研究科修了(工学修士)、金沢工業大学院ビジネスアーキテクト専攻修了(経営情報修士)。日本技術貿易株式会社 IP 総研コンサルティングソリューショングループのマネージャーを経て、外資系特許調査・分析企業であるランドン IP 日本オフィス立ち上げ時にシニアディレクター(日本事業統括部長)として参画し、顧客開拓・マネジメント全般を統括し、日本におけるランドン IP の業績拡大・ブランド構築に大きく貢献。平成 29 年 5 月に株式会社イーパテントを設立し、代表取締役社長に就任。</p> <p>自動車・エネルギーおよびヘルスケア分野を中心に先行技術調査・無効資料調査や侵害防止調査だけではなく、技術動向分析、競合他社分析、知財デューデリジェンス、新規用途探索・アイデア創出などの知財情報コンサルティング業務に従事。</p> <p>著書に「特許情報分析とパテントマップ作成入門 改訂版」(発明推進協会)、「特許情報調査と検索テクニック入門」(発明推進協会)などがある他、論文・寄稿多数。東京理科大学院イノベーション研究科非常勤講師(担当科目:情報収集解析)、金沢工業大学院 イノベーションマネジメント研究科 客員准教授(担当科目:特許情報実務徳論)、発明推進協会講師、大阪発明協会講師などを歴任。</p> </div> </div>
<p style="text-align: center;"><b>内容 (予定)</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知財コンサルタントとして求められる知財情報活用</li> </ul> </li> <li>2. 「知財情報活用講座」の紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「知財情報活用講座」の目的とプログラム内容</li> <li>■ 「知財情報活用講座」受講により得られる知識・スキル・テクニック</li> <li>■ 講師パソコン実演による知財情報調査・分析の実際 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ J-PlatPat を用いた先行技術調査</li> <li>◆ J-PlatPat および MS Excel を用いたマクロ出願動向分析</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>3. 質疑応答および今後の学習にあたって <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 講座受講にあたっての質問</li> <li>■ 「知財情報活用講座」受講にあたっての事前学習</li> <li>■ 知財情報活用スキルを身につけるための勉強方法</li> </ul> </li> </ol>